

会員各位

平成 31 年 2 月 4 日

特定非営利活動法人愛知県理学療法学会 役員選挙公報

特定非営利活動法人愛知県理学療法学会
選挙管理委員会 委員長 江本 達也

特定非営利活動法人愛知県理学療法学会定款に基づいて、役員を受け付けました。理事、監事ともに候補者数が定数を超ませんでした。特定非営利活動法人愛知県理学療法学会選挙に関する規定により、候補者全員が無投票当選となり投票は実施いたしません。
下記に、結果報告と立候補趣旨を掲載いたします。

記

理事 無投票当選者

(定数 10 名 候補者 8 名)

立候補順位	氏名
1	村上 忠洋
2	星野 茂
3	太田 進
4	石田 和人
5	大塚 圭
6	江口 雅之
7	岸川 典明
8	小川 智也

監事 無投票当選者

(定数 2 名 候補者 1 名)

立候補順位	氏名
1	片岡 寿雄



氏名 村上 忠洋

勤務先名 中部リハビリテーション専門学校

立候補の趣旨

私は、これまで理学療法士養成校の教員として、理学療法士の卒前教育に関わる仕事をしてきました。この経験から理学療法士の教育の問題は、単に卒前教育のみでなく卒後教育にもあり、さらにはそれらの連続性が重要な課題であると感じております。こうしたことから、私は NPO法人愛知県理学療法学会（分離以前の愛知県理学療法士会も含め）や日本理学療法士協会の役員として、理学療法士の卒前・卒後教育に携わって参りました。今後も理学療法士の卒前および卒後教育の更なる充実を目指す活動を通じて、NPO法人愛知県理学療法学会に貢献したいと考え、理事に立候補いたします。



氏名 星野 茂

勤務先名 蒲郡市民病院

立候補の趣旨

愛知県理学療法士会とどのように連携していくか、独立した学会としてどのように活動していくか大きな岐路を愛知県理学療法学会は迎えています。地位向上・社会貢献を目的とした職能団体としての愛知県理学療法士会の活動を学術的エビデンスを基に支えながら理学療法士の地位の確立・向上をはかる必要があると考えます。

学術大会の開催・学術誌の刊行・専門教育の充実を通じ行うほか、研究者の支援をどのように行うかなどNPO法人であるからこそ行える支援もあると考えます。

現在、事務局長として両法人の橋渡し役を行っています。今後もこの役職を全うし、理学療法の発展に貢献したく立候補いたしました。



氏名 太田 進

勤務先名 星城大学リハビリテーション
学部

立候補の趣旨

2011年度より学術誌部の部長として、愛知県理学療法学会誌の編集に携わってきました。論文の査読は、3-4回と行うことで論文の質の向上を目指し、また2017年の29巻1号の発行のタイミングでオープンジャーナルとし、掲載論文をより多くの方に参考にして頂ける形式にしてきました。2017年度からの2年間、学術誌部長と理事を兼務させて頂き、学術誌以外の活動にも参加させて頂きました。この経験を活かし理学療法の科学性を高めていく視点からNPO法人愛知県理学療法学会のご支援をさせて頂ければと考えております。よろしくお願い致します。



氏名 石田 和人

勤務先名 豊橋創造大学

立候補の趣旨

私は大学教員として、主に理学療法の“Science”的な部分に携わってきました。理学療法が、さらなる発展が遂げる上で、学術活動は極めて重要であり、特に若手育成、学術活動への参画促進がその鍵であると考えています。私の本学会において、2法人に分かれる以前の愛知県理学療法士会の時代より、ニュース編集部長、学術誌部長などを歴任し、昨年3月には第26回愛知県理学療法学術大会の大会長も務めました。私はこのような活動経験を生かして、愛知県下の理学療法士の学術活動の促進と若手の育成に全力で取り組んでいきたいと考えております。現在、日本理学療法士協会では専門領域が分科学会化され、専門性が益々高まっています。それに対し、県レベルの本学会で重要なことは、多くの会員が学術活動に参加できる環境づくりを進め、若手の育成、学術活動の促進を通じて次世代の理学療法学確立に貢献することだと考え、本学会の理事に立候補致します。



氏名 大塚 圭

勤務先名 藤田医科大学医療科学部

立候補の趣旨

この度、愛知県理学療法学会の理事に立候補致しました藤田医科大学の大塚圭です。私は、平成27年から一期、本会の理事を務めさせて頂きましたが、平成29年から一年間アルバータ大学で勤務していたため、今回、2年ぶりの立候補となります。

今年、理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則の改定が打ち出されました。この改定の中でも特に会員の皆様に大きく関わるのは、診療参加型実習の導入や指導者研修等が盛り込まれた臨床実習に関する改定ではないでしょうか。私が勤務する藤田医科大学では、二年前から臨床実習の形態を診療参加型実習に移行し始め、現在すでに今回の改定に関する対応を始めています。

私はこの経験とともに、約10年、本会の研修部で培ったノウハウと活かし、愛知県の理学療法士育成に貢献したいと考え、立候補致しました。

何卒、宜しくお願ひ致します。



氏名 江口 雅之

勤務先名 中部労災病院

立候補の趣旨

私は平成25年より愛知県理学療法学会 理事、平成27年より理事（組織委員長）を務めさせて頂きました。現在、当学会は学術団体として機能を整理統合する必要があると考えます。愛知県理学療法士会と学会が効率よく活動できるよう引き続き尽力させていただきたいと思い立候補させていただきました。よろしくお願い申し上げます。



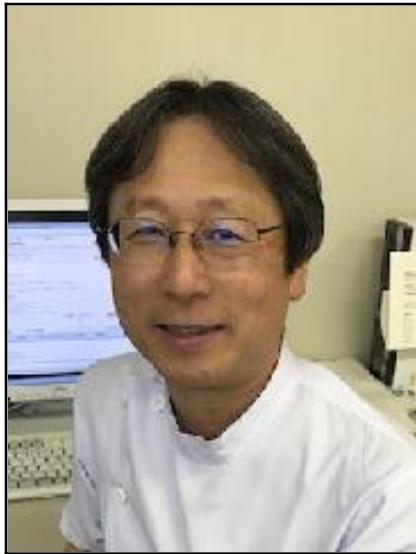
氏名 岸川 典明

勤務先名 愛知医科大学病院

立候補の趣旨

私は、生涯学習システム運用が始まった当初より、県士会教育部長を務め新人教育プログラムを推進し、2000年からは協会の生涯学習部員として生涯学習システムの普及と士会の連携を図った。現在、特定非営利活動法人愛知県理学療法士学会（一般社団法人愛知県理学療法士会の学術、教育機能を担う団体）の副理事長として、事務局、学術局、教育局等の管理者としての理事長の補佐として会員の資質向上を図るべく本務に臨んでいる。また、呼吸理学療法学会の運営幹事として学術大会の企画、運営をはじめ、認定・専門学療法士の制度制定にも携わっている。協会が進める、理学療法学会、専門・認定理学療法士制度の円滑な展開と県士会員が混乱なくその道を進めるよう、協会と士会間の架け橋になればと立候補した次第である。

また、国の医療に関する政策をより迅速に把握し、会員への周知を図りたく思っている。



氏名 小川 智也

勤務先名 公立陶生病院

立候補の趣旨

平成19年度から平成28年度までは愛知県理学療法士会の理事を努め、平成23年には第21回愛知県理学療法学術大会を大会長として開催させていただきました。平成29年度からは愛知県理学療法学会の理事を務め、白書担当として白書作成に従事してきました。

引き続き愛知県理学療法学会の理事として愛知県の理学療法士の学術的発展を目指し、理学療法士の方々の活性化を図り、臨床能力の向上に寄与していくたいと考えております。また、愛知県理学療法士会とも協調し社会的責任を果たす団体として発展させていきたいと思っております。以上の趣意にて今回、愛知県理学療法学会の理事に立候補いたしました。



氏名 片岡 寿雄

勤務先名 岩倉病院

立候補の趣旨

私は、12年間の公益社団法人 愛知県理学療法士会理事を経て、NPO愛知県理学療法学会の監事を1期務めさせていただきました。両会に携わった身として、未来に向け良き方向に運営されることを切に願っております。微力ながら引き続き監事としての役目を遂行させていただきたく、今回立候補させて頂きました。宜しくお願ひいたします。